

【1】漢方を活用するために

衆議院議員 遠藤 利明

【2】漢方のさらなる普及を目指して

参議院議員 宮沢 洋一

【3】漢方薬の原料・薬用作物への取組み

参議院議員 林 芳正

【4】安倍政権が漢方に期待すること

参議院議員 衛藤 晟一

【5】世界に誇れる和の心・漢方医学の発展のために

衆議院議員 松本 純

【1】漢方を活用するために

我が国では高齢化の進展に伴い、高齢者の方々の多様な生活の質をどのように高めていくかが重要な課題となっています。

幸せな高齢生活を送るには、ただ長生きするだけでなく、健康であることが必要です。

超高齢社会を乗り切る知恵として、複数の病気を抱えがちな高齢者の複合的な症状改善に資する漢方に対するニーズは、年々高まっております。

漢方の利点は、全身にゆっくり作用することであり、現在では西洋医学との併用により、がんのつらい症状や抗がん剤の副作用などを緩和する取組も行われているところです。

本年8月には、災害に遭われた方の心の傷に対しても、漢方が有効であるとの調査結果が報じられました。

副作用の少ない漢方への注目は高まるばかりです。

漢方は医療現場において広く用いられ、保険適用されているところです。

今後とも、保険適用の継続のみならず、医療用漢方製剤の薬価維持に向けて取り組む必要があります。

また、生薬の調達については、漢方の安定供給を確保する観点、消費者の安全・安心の観点から、国内産生薬の確保に向けた取組を進めていくことが重要です。

私も今後、国政の場におきまして、漢方の更なる活用促進に向けまして、鋭意努力して参ります。

衆議院議員 遠藤 利明

【2】漢方のさらなる普及を目指して

漢方医学は、病気を局所で考えるのではなく、患者の心身を全体として捉えそのバランスを整えようとする伝統医学であり、

漢方薬は、この考え方に基づいて複数の生薬を組み合わせで処方された医薬品です。

超高齢化社会を迎えつつある日本では、複数の症状を訴える高齢者の方々も多くなります。

こうした方々の治療では、個別症状への対症療法だけでなく、全人的治療を行う漢方医学・漢方薬に大きな期待が寄せられています。

漢方薬は、作用が穏やかなだけでなく、比較的低廉で医療保険財政にも優しいため、世界に誇るべき日本の国民皆保険制度の中で、皆様が漢方治療にさらにアクセスしやすくしていくことは大切な課題だと考えています。

そのためには、医学教育も不可欠な要素です。

既に日本では、全ての大学医学部と医科大学において漢方の処方や診断法の教育が行われていますが、さらに教育内容を充実し、西洋医学と漢方医学の両方の知識・技術と全人的医療の考え方を身につけた医師を養成していくことが重要です。

近年、日本の漢方薬市場は大きく拡大しています。

しかし、原料生薬は海外、特に中国からの輸入が中心で、価格や安定供給面で課題が生じています。

このため、農林水産省・厚生労働省において、薬用作物の国内生産拡大のための取組を開始させています。

こうした取組も含め、今後とも漢方医学の普及に向けた活動を続ける所存です。

御理解・御協力をお願いいたします。

参議院議員 宮沢 洋一

【3】漢方薬の原料・薬用作物への取組み

漢方薬の原料となる薬用作物(薬用植物、薬草)に関する国の取組みについてご紹介させていただきます。

我が国の伝統医学である漢方医学を支える漢方薬ですが、ここ数年、健康志向を背景に漢方薬へのニーズは高まっています。

しかし、原料となる薬用作物は8割以上を中国からの輸入に頼っており国産は1割程度となっています。

そこで、農林水産省では、薬用作物の国産化を進めるため、昨年来、厚生労働省と協力して、漢方薬メーカーと、薬用作物を栽培したい生産者の方を結びつけるための会議の開催や、産地化を目指す生産者を支援するための補助事業を実施しています。

この結果、この会議をきっかけとして全国で18の産地が漢方薬メーカーと協力して試験栽培等を開始することとなり、また、全国で29の産地が農林水産省の支援を受けて薬用作物の栽培を開始しました。

さらに、本年6月に改訂された日本再興戦略にも薬用作物の国産シェア拡大を追記したところです。

今後も、薬用作物の国内産地化、安定供給への取組みを支援してまいりたいと考えておりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

参議院議員 林 芳正

【4】安倍政権が漢方に期待すること

政府は、これまで以上に漢方薬の安定供給と普及に努めなければなりません。

漢方は、古来より心と全身に着目した病気の治癒と未病を改善し、また、世界トップクラスの長寿、超高齢社会の我が国を支え、今後も支えるべき伝統医学であるからです。

2014年、初めて男性の平均寿命が80歳を超えました。
女性は86.6歳となり、2年連続世界一です。

介護保険の創設に携わった私としては平均寿命の伸びを嬉しく思う反面健康寿命も延ばしていくべきであると考えます。

日本の健康寿命は男性で71歳、女性で74歳ですが、平均寿命との間には大きな開きがあります。

健やかな老後を過ごし、活力のある日本を創るためには健康寿命を延ばす必要があります。

そこで、安倍政権は日本再興戦略において、2020年までに健康寿命を1歳以上延ばす数値目標を掲げました。

この目標達成のためには、漢方が健康保険の適用などを通じて、国民の健康維持、病気の治癒に役割を一層果たすことが不可欠であり、その結果として医療費の削減にも貢献していくものと考えています。

最近では全国の大学で漢方の講座が増えるなど歓迎すべき状況にあります。

私は「日本の誇れる漢方を推進する議員連盟」の副会長としても、漢方の安定供給と普及にこれまで以上に取り組み、国民の健康とさらなる長寿社会の実現に尽力してまいります。

参議院議員 衛藤 晟一

【5】世界に誇れる和の心・漢方医学の発展のために

私は漢方のような伝統医学は、日本固有の文化であると思っています。

日本文化は海外では我々の想像以上に良いイメージで見られていて、例えば、ご存知のように和食が「文化の多様性を反映し人類の創造性を証明している」と判断され、世界無形文化遺産に登録されました。

これは、我々日本人が「和の心」を尊びながら、日本文化を築きあげてきた結果です。

しかし、一方では、「和の心」のために「自己主張できない」という批判も一部あります。

現実に日本、中国、韓国の間には生薬の輸入に関する問題や国内生産の問題、さらには漢方や鍼灸の治療の国際的標準化が議論されています。

日本文化と同様、我が国独自の優れた漢方医学に誇りと自信を持ち、世界に漢方医学の情報を発信することが求められています。

漢方医学が次世代にしっかりと受け継がれますように、国政として何ができるか常に考え、適切に対応していきます。

西洋医学だけでは対応しきれない難病や愁訴への対応等、総合的な診療における漢方医療の一層の充実・発展のため、薬剤師議員として、また「日本の誇れる漢方を推進する議員連盟」の一員として、さらに努力して参りたいと存じます。

衆議院議員 松本 純
